

各 位

平成 28 年 4 月 14 日
 東京都港区六本木四丁目 4 番 8 号
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表取締役会長兼社長 金山 精三郎
 (コード番号：2798 東証第二部)
 問合わせ先責任者 常務取締役執行役員 平尾 健治
 (TEL 03-5412-0065)

特別損失の計上及び平成 28 年 2 月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は平成 28 年 2 月期（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）におきまして、下記の通り特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、平成 27 年 10 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 2 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容および金額（連結）

当社運営の 3 店舗および当社子会社運営の 1 店舗につきまして、減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 91 百万円を計上いたします。以上により、第 3 四半期までの計上額を含め、特別損失の合計は 186 百万円になる見込みです。

2. 特別損失の内容および金額（個別）

（台湾子会社について）

当社の海外子会社である微風和伊授桌餐飲管理顧問股份有限公司につきまして、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、関係会社株式評価損として 36 百万円、関係会社事業損失引当金繰入額として 58 百万円を特別損失として計上いたします。

（上海孫会社について）

平成 27 年 11 月 18 日付の『海外連結子会社及び孫会社の解散及び清算に関するお知らせ』の通り、当社の海外孫会社である和伊授桌餐飲管（上海）有限公司は清算手続きを開始しており、当社に対する債権の回収可能性が低いことから、貸倒引当金繰入額として 110 百万円を特別損失として計上致します。

なお、この特別損失（個別）は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 平成 28 年 2 月期連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,848	百万円 200	百万円 253	百万円 78	円 銭 29.07
今回発表実績 (B)	15,011	195	237	114	42.92
増減額 (B-A)	163	△4	△15	35	—
増減率	1.1%	△2.4%	△6.2%	45.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	14,306	164	253	42	15.93

(差異の理由)

売上高につきましては、前回予想を上回る結果となりました。利益面については、一部既存店舗が低調に推移したこと、また海外店舗の閉店等の影響により、前回予想を下回りました。また特別損失として 186 百万円を計上した一方で、法人税等調整額 109 百万円を計上したことにより、当期純利益は前回予想を上回りました。

以上